

2018
5

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

自転車は 車といっしょ 左側



つつじ寺

(川崎市宮前区：等覚院)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(平成30年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成30年		8,649	45	10,238
平成29年		8,665	43	10,283
増減数		-16	+2	-45
増減率		-0.2	+4.7	-0.4

	総数	男	女
県人口	9,161,113	4,568,233	4,592,880
免許人口	5,635,119	3,229,015	2,406,104
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年4月1日、免許人口は平成30年3月末現在)

着任挨拶

神奈川県警察本部
交通部長 西方 昭典



この春の人事異動により着任いたしました交通部長の西方でございます。

交通安全協会の皆様におかれましては、街頭での保護誘導活動や交通安全キャンペーンなどの地域に根差した交通安全活動をはじめ、警察行政各般にわたり御理解と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、第10次神奈川県交通安全計画の目標である年間の交通事故死者数150人以下を、一昨年に続き2年連続で達成することができました。

本年は、4月末現在で交通事故により亡くなられた方は45人と大変厳しい状況ではありますが、県警察といたしましては、高齢者・二輪車・自転車の各対策を引き続き推進するとともに、本年に導入した可搬式オービスを活用するなどして、生活道路での交通指導取締りを強化してまいります。

また、4代目となる各種シミュレータを搭載した交通安全教育車「ゆとり号」が配車となりましたので、県内各地に派遣し、参加・体験・実践型の交通安全教育を行うなど、各種取組を強力に推進いたします。

皆様におかれましても、悲惨な交通事故を1件でもなくすため、引き続き地域における交通安全意識の普及、高揚にお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、交通安全協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

二輪車交通事故防止及び暴走族追放運動

◎ 期 間

平成30年6月1日(金)～6月30日(土)の1か月間

◎ 趣 旨

この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の高揚を図るとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を高揚して暴走族への加入防止と離脱の促進を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。

◎ スローガン

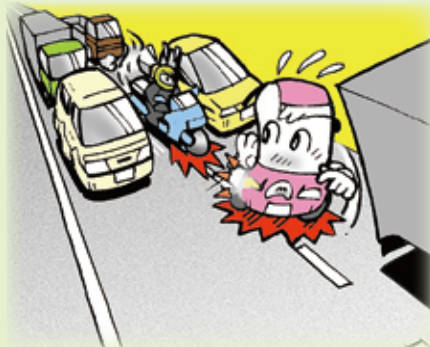
- ◇ 運転に ゆとりやさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しないさせない ゆるさない

◎ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

◎ 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族への加入防止などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。



「春の全国交通安全運動」実施結果

春の全国交通安全運動(4月6日(金)～15日(日)の10日間)に伴い、県内各地区においてキャンペーン等を行いました。

期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数及び負傷者数は前年運動期間と比べて増加しましたが、死者数は前年と同数でした。

子どもと高齢者の交通事故は増加しました。



(中原交通安全協会)

◇ 県内の交通事故発生概況

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本 年	682 (66)	2 (0)	831 (73)
前年運動期間比	+57 (+16)	±0 (±0)	+87 (+18)
増 減 率 (%)	+9.1 (+3.2)	±0 (±0)	+11.7 (+32.7)

※()内は、子どもの交通事故

◎ 「交通事故死ゼロを目指す日(4/10)」の交通死亡事故

・ 神奈川県 1件1人 ・ 全国 15件15人

● 全国の交通事故死者数、ワースト順位

順 位	1	2		4				8					全 国
都 道 府 県	福 岡	埼 玉	愛 知	新 潟	千 葉	静 岡	三 重	福 島	長 崎	東 京	兵 庫	広 島	
死 者 数	7	6	6	4	4	4	4	3	3	3	3	3	84
前年同期比	+6	+3	+2	+3	+2	+2	+2	+1	±0	-1	-1	-2	+10

※ 神奈川県は、死者数2人で全国ワースト第13位

自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、5月5日のチリリン・デーなどの機会に駅頭や主要交差点などでキャンペーンを展開し、自転車利用者の交通ルール遵守、マナーアップを呼びかけています。



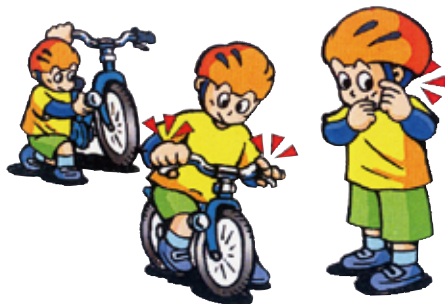
..... 平成30年度「自転車交通事故多発地域」

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、平成29年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(22.9%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計14市区町を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

	指定地域
市	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市
区	横浜市鶴見区、川崎市川崎区・幸区・中原区・高津区・多摩区 相模原市中央区・南区
町	寒川町、大磯町

※ 下線は昨年も指定

第49回交通安全こども自転車神奈川県大会及び 第7回交通安全高齢者自転車神奈川県大会出場チーム募集中



こどもと高齢者の自転車の安全な乗り方の向上と自転車事故防止を目的として交通安全自転車神奈川県大会を開催します。

- 開催日時 平成30年7月7日(土) 午前9時から
- 場所 横浜文化体育館(横浜市中区不老町2-7)
- 申し込み先 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-15
(公財) 神奈川県交通安全協会
TEL 045-478-0166 FAX 045-475-5524
- 締め切り 平成30年6月1日(金)
- 大会概要、参加条件等詳細については、(公財) 神奈川県交通安全協会へお問い合わせください。



平成30年度使用 交通安全スローガンポスター

～神奈川県伊藤文人さんの作品が入賞～

- ◎ 内閣総理大臣賞(最優秀作)
 - 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの
- ダブル受賞となりました!! おめでとうございます



(伊藤文人さん)



(伊藤文人さん)



交通指導員だより

栄交通安全協会 興石 稔

かながわの交通新企画「交通指導員だより」として各地区交通安全協会の指導員の皆さんの活動等を適宜紹介していきたいと考えております。

最初に登場していただくのは、栄交通安全協会の興石稔さんです。

● 活動内容

私が交通指導員となったのは、7年前に小学校のPTA会長の時に、それまで所属していた学援隊の組織の見直しを図り、全保護者が見守り隊員として活動を始めたことで、毎朝の見守りの際に自信を持って活動できると思ったからです。

現在は、小学校の「はまっ子交通安全教室」、各企業団体の交通安全教室や交通安全キャンペーン等のイベント参加、交通整理などをお手伝いしています。

● 交通指導員としてのやりがい

毎朝の見守りを通じて、子供達や街の皆さんと交流できることです。

また、子供達とは小学校の行事で、綱引きや稲作の指導で交流を深めており、地域のおじさんとして信頼されていることを実感しています。

● 趣味

自転車、二輪車、自動車の整備や機械いじりで、自転車教室や二輪車講習に役立てています。

● 今後の目標

昨年は交通指導を充実させるため、二輪車安全運転指導員、自転車安全教育指導員の資格を取りました。更にスキルを上げるため機会があれば講習会にも積極的に参加したいです。



第20回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

● 申込期間

平成30年4月16日(月)～6月30日(土)

● コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)

平成30年7月1日(日)～12月31日(月)

● 参加要件

- ◇ 神奈川県内に在住・在学・在勤または仕事等のため県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム
- ◇ チームの全員が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること

● 参加区分

- ◇ 一般チーム：年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
- ◇ シルバーチーム：一般チームのうち、全員が65歳以上(7/1日現在)のチーム

● 抽選 平成31年2月下旬に抽選・2月28日(木)

当選発表(予定)

● 参加手数料等

- ・1チーム1,890円(運転記録証明書発行手数料1人630円の実費)
- ・参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。
- (1年間以上無事故・無違反の方はSDカードを同封します。)



賞品(予定)

特賞 30万円分の旅行券[1チーム]

1等 15万円分の旅行券[2チーム]

2等 6万円分の商品券[5チーム]

3等 3万円分の商品券[10チーム]

4等 6,000円分の商品券[150チーム]

5等 3,000円分の商品券[300チーム]

その他シルバー特別賞あり

交通事故の悲劇に学ぶ ⑤8

●「事故の代償」 会社員：28歳

私は市原刑務所で刑に服してます。私は人を殺してしまいました。私の大好きなバイクによって……。

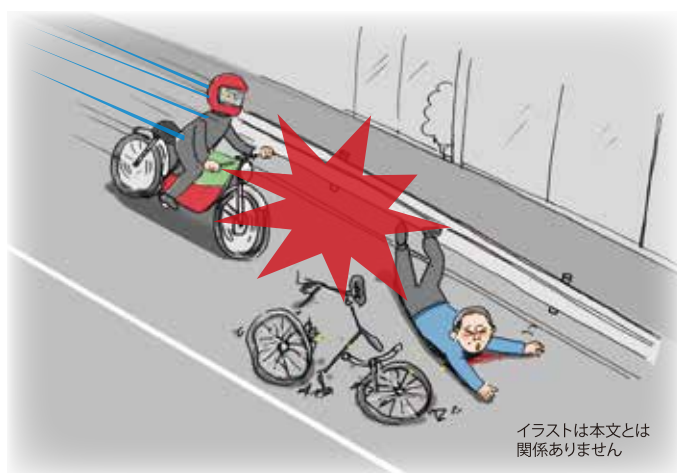
学生の時、自動車の免許を取得し、「普段の足になれば」と原動機付自転車を購入しました。これがバイクとの出会いでした。初めて乗った時の事は、今でも忘れることができません。行動範囲も一気に広がり、それこそ翼でも生えた様な気持ちでした。その後、学校を卒業し会社に就職した私は経済的にある程度余裕ができたこともあり、大型自動二輪車を購入しました。

しかし、平成26年のある日、私は取り返しのつかないことをしてしまいました。当時24歳の私は、会社で働き始めて3年目になり仕事にも慣れ、やりがいなども感じ始めた時でした。その日、仕事から帰った私は夕食を済ませ、バイクに乗って出掛けました。仕事は楽しくもありましたが、仕事の後にバイクに乗って出掛けるのが一つのストレス解消になっていました。行くあてもなく、バイクを走らせた後、家路につこうと信号で止まりました。そこは見通しの良い直線の道路でした。私は「見つからなければいいだろう」という気持ちでスピードを出してしまいました。街灯が点灯していませんでしたが、100km/hを超えるようなスピードを出した結果、被害者の方が乗る自転車に追突してしまいました。

私は大怪我をし、頭を打って事故の記憶がまったくなくいま、病院に搬送されました。そして、退院後に両親から私が事故を起こし被害者の方が亡くなったことを聞かされ、頭が真っ白になりました。

しかし、現場検証などをするにつれ、次第に自分のしてしまった事の重大さを理解しました。裁判になり、被害者ご遺族の方の意見陳述の中で被害者の方の人生や多くのことを聞き、身体の震えが止まりませんでした。裁判の結果、自動車運転過失致死罪につき禁錮2年の実刑判決を受け、会社を懲戒解雇となりました。

市原刑務所に収容されて少し経ったころ、「外で待つ



イラストは本文とは関係ありません

ている人はもっとつらくて苦しい思いをしている」と職員の方に言われました。その言葉を受けよく考えると、私は刑務所という社会から隔離されている場所にはいますが、私の家族は人からの視線が気になり、腫れ物にさわるような扱いをされるという話を聞きました。そう考えると、今の環境が「つらい」と口が裂けても言えません。

交通ルールを守っていれば、多くの命が救われ、私のような加害者や家族もなくなることでしょ。ありがたくも在所中に示談が成立しましたが、今も被害者ご遺族の方には申し訳ない気持ちで一杯です。私はできる限りのことをして被害者ご遺族の方と向き合っていきます。また、2度と自動車などに乗らないことを誓い、どんな小さなルールも守るとともに、被害者ご遺族の方や私の家族を裏切らない生活をします。

もし被害者を生んでしまったらというのは想像しづらいのかもしれませんが、しかし、自分の家族や身近な人のことなら想像しやすいと思います。交通事故で私のような加害者や事故でつらい思いをする人がいなくなることを願ってやみません。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第52集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 那賀都工業(株) ————— 大和市代官
- 京浜急行バス(株) ————— 東京都港区高輪
- (株)優志建設 ————— 伊勢原市桜台

この人
148



瀬谷交通安全協会
会長
渋川 正継さん
しぶかわ まさつぐ



瀬谷交通安全協会は、昭和47年4月瀬谷区内を管轄する瀬谷警察署発足とともに誕生し現在に至っています。

今回は、瀬谷交通安全協会では会長を務めます渋川正継さんを紹介しします。

渋川会長は、昭和12年、新潟県の生まれで、地元の高校を卒業してから昭和36年に溶解技術の会社に就職し、40代で独立して電熱材料会社を設立しました。

自営の傍ら母親の影響もあってボランティア活動を始められたそうですが、安全協会には、支部が細分化された昭和59年に五貫目支部員となり、平成6年支部長、平成8年会計、平成12年副会長を歴任して、平成24年5月会長に就任されました。その他、県協会の評議員、警察署協議会委員、地域交通安全活動推進委員をなさっております。

瀬谷区内の主な行事である、瀬谷区民マラソン、海軍道路での桜祭り、10月に行われます区内最大のイベント「瀬谷フェスティバル」等において交通安全キャンペーンを行うとともに、安全協会の役員はじめ交通指導員から頼りにされ、協会総出で交通整理等に活躍しています。

本年の活動については、各季の交通安全運動で相鉄線の瀬谷駅、三ツ境駅前でリーフレットや反射材等を配布するキャンペーンを展開するなど広報啓発活動を推進し、新入学児童(園児)には「歩き方教室」、各小学校に対しては「はまっこ交通安全教室」を開催して子どもを交通事故から守る活動をこれまで以上に強化していきたいと考えております。その他、瀬谷駅、三ツ境駅前広場において駅利用者等に「交通安全ひとこえ運動」を実施したり、町内会や各種団体に対しては、警察署と連携して映像を利用した交通安全教室を開催するなど、各支部員とともに活動していきたいとのことです。

会長の趣味は音楽鑑賞とゴルフとのことです。特に老人会など高齢者が集まる場所では、ハーモニカを演奏しながら交通事故防止の呼びかけを行っています。これからも健康に留意されながら、地域の交通安全と協会の発展にご尽力をお願いしたいと思っております。

(取材協力:瀬谷交通安全協会)

こんにちは
「金沢交通安全協会」です

金沢交通安全協会は、昭和26年10月に金沢警察署が磯子警察署から分離独立したのにあわせて発足し、今年で67年になります。

金沢区は、天保7年歌川広重が描いた金沢八景や県立金沢文庫などに代表される鎌倉時代からの名所旧跡も多く、歴史の感じられる街であるとともに、横浜市内で唯一海水浴と潮干狩りができる海の公園や八景島など海と緑豊かな自然環境にも恵まれている街です。

当協会が重点的に取り組んでいる交通事故防止対策として子供と高齢者の交通安全教育活動があります。

区内には公立小学校22校ありますが、交通指導員等が全校に赴き、新入学児

童には正しい歩行の仕方・高学年には自転車の乗り方や死角・巻き込み実験など体験型の「はまっこ交通安全教室」を実施しております。

また自転車の安全利用の推進を図るため、金沢警察署・金沢区役所と連携し、子供・保護者及び高齢者を加えた三世代交流による「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」を開催しております。

この大会も今年で13回目を迎えますが、チーム構成は、小学生4名・保護者1名・高齢者1名の6名編成で「学科・実技試験」を行い、優勝チームの小学生には県大会に出場してもらっています。

昨年は12チーム72名の方の参加があり、小田小学校が二連覇を果たし、7月に横浜文化体育館で開催された県



大会に出場し、念願の上位入賞(2位)することができました。これも子供達の頑張りとは勿論のこと交通指導員・地域交通安全活動推進委員の皆さんが土日返上で指導していただいた結果だと思っています。

今年も交通指導員が中心となって子供達を指導し、上位入賞を目指して頑張りたいと思っています。

(早坂 記)

地区交通安全協会の活動紹介



中原 武蔵小杉駅前での交通安全パレード



麻生 新百合ヶ丘駅前での交通安全キャンペーン



大磯 国道1号線での交通安全キャンペーン



保土ヶ谷 警察署前での交通安全キャンペーン



相模原北 橋本地区での交通安全キャンペーン



横浜水上 横浜港での交通安全海上パレード



海老名 海老名駅前での交通安全キャンペーン



横須賀 ソレイユの丘での交通安全キャンペーン



旭 鶴ヶ峰駅前での交通安全キャンペーン



葉山 逗葉新道での交通安全キャンペーン

春の全国交通安全運動

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 ————— 6月中
- 二輪車安全運転講習 ————— 6月16日(土) 運転免許センター
- 第9回評議会、第25回理事会 ————— 6月18日(月) 県安協会館
- 地区事務長会議 ————— 6月26日(火) 県安協会館